

本校の授業 その3

2年 道徳 佐藤智江里

【題材】 道徳 「挨拶は言葉のスキンシップ」

【価値項目】 B-7 礼儀



①電子黒板では、「全員の意見」を見ることができる



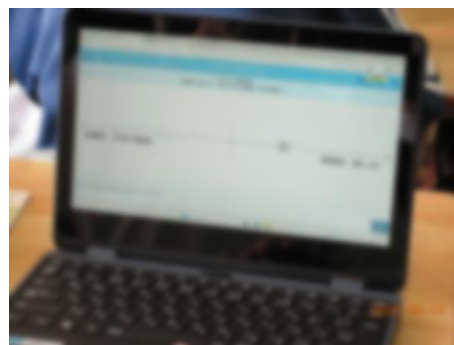
【授業の概要】

②生徒の意見を見回っている教師

2年生の道徳の時間である。7月に行われる職場体験に向け、準備の一環として「挨拶の大切さ」を考える授業である。

＜本時の流れ＞

- (1) 各自タブレットで職場体験への臨み方を数直線上に「自分が考える」位置を表す。
右の写真③ タブレット上でポジショニング（自分の位置）する生徒の様子
- (2) 上の①の写真で仲間の意見を参考にする。



他者参照が簡単にできるのは、デジタル教育の特徴

③生徒が使用しているタブレット

- (3) 中心発問 「言葉のスキンシップ」とはどのようなものか

②の写真の場面：教師は、生徒の様子を見ながら、発言させる順番を考える。

様々な意見を取りあげる ・ 様々な表現を取りあげる

- ・ 心と心をつなぐもの ・ スポーツでいうハイタッチのようなもの
- ・ 自然と笑顔になるもの ・ マニュアル通りではないもの

- (4) まとめ 挨拶に込められている想いを考えよう
 - ・ 敬意 ・ 感謝 ・ つながり ・ 「よろしくね」の気持ち
 - ・ 心を込めた「ごめんなさい」

- (5) 今日考えた「挨拶」を活かして最後の挨拶をしましょう。

＜指導者の工夫＞

- ① 導入において、「はたらく体験」への臨み方を各自考え、自分事として捉えられるようにしたこと。
- ② 普段、何気なくしている挨拶の意義について考えることにより、今後の実践につながるきっかけの機会としたこと。